



みさき学園だより

2026.6.8

八女市立みさき学園
校長 堤 須真子

昨年度、学校だよりは「みさき学園からのお知らせ」として、ホームページ上に掲載されていました。本年度もその形を引き継いでと考えていましたが、うまくいかないことが多く、この形で出していくことにしました。

令和8年度がスタートして2ヶ月の間で、子供達のことや学校の様子等、お知らせしたいことがたまっていきます。今回から数回は、少し前のことも含めてお知らせします。

笑顔のコミュニケーション



4月の始業式の日から、学校近くの通学路で、登校の見守りをしています。道幅の割に交通量が多い道路を、前期課程(1~6年生)の子供達が1列で登校してきます。地域の青少年健全育成会の方や、保護者の方々も、交差点に立っていただいたり、一緒に登校していただいたりして、子供達の安全を見守っていただいている、感謝の気持ちでいっぱいです。

4月当初から、とても感じがよく、気持ちのよい子がいます。自転車に乗って通り過ぎるときに、ニコッとこちらを見て、軽く会釈をして通り過ぎます。私も異動してきたばかりで緊張の時期でしたが、ほっとして、よい気持ちにさせてくれました。



また、スクールバスの車窓から、私と目が合うとニコッとして会釈をする子がいます。この前は、おはようございますと、口を動かしたように見えました。声は出していなくても、気持ちが通じる挨拶であるんですね。優しい気持ちになりました。

毎日同じ場所に立っていると、少しずつ慣れてきて、挨拶を返してくれる子も増えてきました。ちょっと遠くても、視線が合ったときに会釈をしたり、雨の中レインコートを着て自転車をこぎながらも「おはようございます」と言ったり、いったん立ち止まって元気な声で「おはようございます」と言ったり、とても気持ちがよく、元気をもらう瞬間です。挨拶をし合うことで、お互い気持ちよく元気を与え合って、朝のスタートを切ってほしいと思います。

まだやりたかった!



少し前のことですが、あじさい学級の1年生の算数の授業をのぞくと、1から10の数の学習でした。カードを使って、一生懸命、楽しそうに活動していました。先生は、たまにヒントを出したり、できた時は一緒に喜んだり、私も見ていて楽しい時間でした。

時間になって子供達が言った言葉が「もう終わり?まだやりたかった!」でした。その言葉を聞いてとてもうれしい気持ちになりました。

子供が夢中になって学びに向かっている授業を、先生方に作ってもらっています。その様子をこのお便りでお知らせしたいと思います。

